

町体育指導委員が全国表彰

長年の活動に光

境田町の鈴木正吾さん（71）と中央町の木村千種さん（66）が、社団法人全国体育指導委員連合の「30年勤続体育指導委員表彰」を受賞しました。同賞は体育指導委員として活動し通算で30年を迎えた方に対して贈られるものです。

鈴木さんは、昭和31年に町剣



鈴木正吾さん



木村千種さん

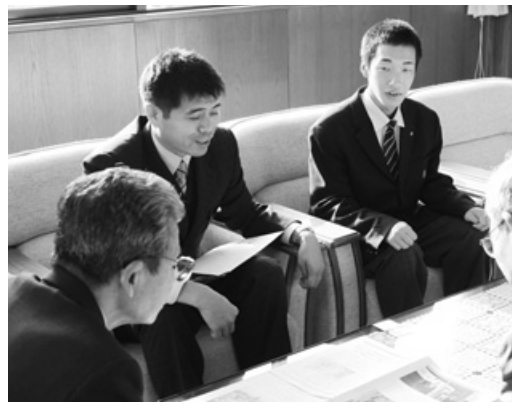
道協会に入会して以来、小学生の指導に当たり、県剣道連盟の公認審判員を17年、町剣道協会の副会長を30年務めるなど剣道の振興に尽力しています。その一方で、昭和52年に町体育指導委員に任命された鈴木さんは、町民の皆さんにスポーツを楽しんでもらおうと、ニユースポーツの振興に意欲的に取り組み、現在は町体育指導委員の代表を務めています。鈴木さんは「表彰されたことは栄誉なこと。子供からお年寄りまでスポーツを楽しめるように指導を続けた」と話していました。

体育大学で体操競技を専攻した木村さんは、昭和43年から体操やダンスの指導に当たり、昭和52年からは町体育指導委員として保育園児からご年配の方まで幅広い方々に体操に親しんでもらうため活動してきました。木村さんは「表彰されたことはありがたいことです。町指導委員に任命され、町民の皆さんと知り合えたことがわたしの宝です。これからも皆さんが楽しくスポーツができるように活動を続けていきたい」と受賞の喜びを話していました。

駅伝大会で大活躍の斉藤君 全国大会への出場を報告

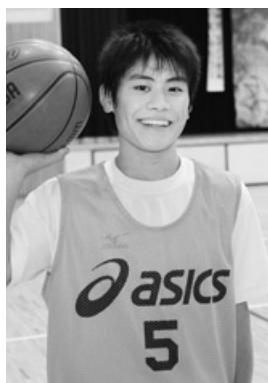
10月16日に行われた第60回全国高等学校駅伝競走大会県予選で、織笠の斉藤翔太君（2年）が一関学院高の第4走者として活躍し、全国大会への出場を決めました。11月27日、斉藤君と同高陸上部監督の菅原和幸さんが全国大会出場への報告に沼崎喜一町長を尊敬訪問。斉藤君は「体調を整えてチームの勝利につながるよう頑張りたい」と力強く抱負を述べると、菅原監督は

「斉藤君はこれから伸びる選手で大きな戦力。今後も山田町の選手のお借りします」と話しました。なお、全国大会は12月20日に京都市で行われ、同高は58チーム中14位と好成績を収めています。



町長室を訪れた一関学院高の斉藤翔太君（写真右）と監督の菅原和幸さん

都道府県対抗バスケ大会



近藤佳晃君

山田中2年の近藤佳晃君が、第23回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会に出場する県選抜チームのメンバーに選ばれました。山田中学校からは2年連続で同選抜チームに選ばれています。大会は3月27日から29日まで東京体育館などを会場に行われ、本県チームは山梨県、熊本県と予選リーグで対戦。上位1チームが決勝トーナメントへ駒を進めます。近藤君は「自分の持ち味のスピードを生かして、チームの勝利に貢献できるように頑張りたい」と抱負を話しました。

山田中の近藤君が県選抜

